



# おち あい しん ご 落合慎悟県議

## 静岡県議会報告 2019年3月号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

# 静岡県議会報告 五輪会 自民改革会議 静岡県議会議員

# おち あい しん ご 落合慎悟



本庶 佑先生ノーベル生理学・医学賞受賞祝賀会に出席、写真はノーベル賞



私の政治活動に大きな支援 片山さつき地方創生大臣

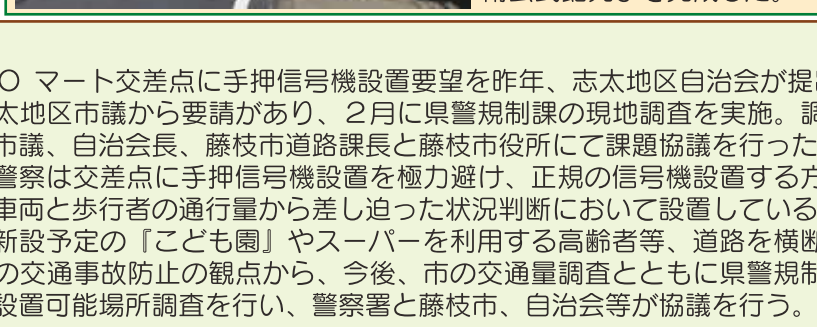
落合慎悟県議の地元[藤枝市]対応!!最近の一例 (県に関する身近な課題も『ご意見ご要望』をお寄せください。)

下記以外に2/12 岡部町三輪地区の自治会町内会長と道路課題協議、2/19 藤枝青島の5地区自治会長「瀬戸川会」協議等、常に対応。

**2月14日平島団地汚水処理場管理組合が県に要望書提出(県議会議長室)**  
平島団地管理組合 15人と公共住宅課・生活排水課が出席し、要望書の提出と意見交換会を議長室で開催した。老朽化した汚水処理施設の管理組合は、維持管理に不安が高まっていた。北村市長から市下水管接続に向け前向き発言があり、県も支援していく。



**大洲地区自治会支部長と善左衛門停車場線舗装完了を確認**  
昨年6月に県道沿い住民からスマートIC完成後、大型車両の通行が多く、路面の傷みが酷く段差ができ、夜も眠れないとの苦情電話があった。舗装改修予定は新幹線以北だったが、予算の上乗せで忠兵衛公民館先まで完成した。



**3月1日志太 KO マート交差点に手押信号機設置の課題協議(藤枝市役所)**  
志太 KO マート交差点に手押信号機設置要望を昨年、志太地区自治会が提出。1月に志太地区市議から要請があり、2月に県警規制課の現地調査を実施。調査結果から市議、自治会長、藤枝市道路課長と藤枝市役所にて課題協議を行った。本来、警察は交差点に手押信号機設置を極力避け、正規の信号機設置の方針であり、車両と歩行者の通行量から差し迫った状況判断において設置している。今回、新設予定の「こども園」やスーパーを利用する高齢者等、道路を横断する歩行者の交通事故防止の観点から、今後、市の交通量調査とともに県警規制課が信号機設置可能場所調査を行い、警察署と藤枝市、自治会等が協議を行う。

**道路企画課・街路整備課・都市計画課と志太中央幹線整備協議**  
志太中央幹線は左車地区500m区間が34年開通予定となった。旧国一号交差点の課題解決に県の知恵を伺う。藤枝焼津線の高架を平面交差にする案が検討されている。藤枝市から「瀬戸川以北までを市施工、瀬戸川から以南を県施工」という提案も検討されている。

**12月号と2月号の返信葉書の要望**  
県政報告を年3回発行します。発行の度に「ご意見ご要望をたくさん頂きます。道路河川の件が多くありますが、医療や介護の課題も多くなりました。下の返信ハガキの様な多岐に亘る要望内容に伝えるため、藤枝市の将来を見据え、具体的な施策の実施に向け、取組みます。

**3月に頂いた返信葉書(ご要望)です。県政報告発行の度に数多く頂きます。**  
三期連続当選議員、現副議長、今後が期待されます。次の二点をお願いします(市発展願い) 応援します。  
○志太中央幹線道路、藤枝地区は旧国一までは新規の県道の付け替えです、約2km25年過ぎても工事中です。何を考えているのですか?仕事は多々ありますが藤枝市の将来を考えると大事な仕事の一つです。  
その先の志太平野の使い方、県の考え方次第です。  
○大洲地区、農業従事者は高齢者、農業を次ぐ人は激減、今後の土地の使い方はどうするか。  
又瀬戸ノ谷地区、少子高齢化、農林業の衰退等にはどのように取り組んで来ましたか?両地区は歴史ある農村地区。土地利用の線引きを見直す事で(規制緩和)住宅、工業団地等に生まれ変わる、大きな流れの中で行政が考える問題です。県議の仕事です。  
○県が(川勝知事)積極的に動かないので国の予算が付かないと言う人もいます…。頑張ってください。

**落合慎悟事務所**  
〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
http://www.ochiai-shingo.jp

**島田土木事務所井堀班長(藤枝市担当)と31年度工事予定の協議**  
31年度工事予定について、多くの事業を確認した。旧国道一号瀬戸新屋付近から西に緑地ブロック撤去、自転車道 1.5mを整備。自転車道整備は藤枝市の主要な取り組みで県が応援、一部商店街で実施済。歩道環境整備は葉梨川にバイパスを挟んで整備。瀬戸川勝草橋付近から金吹橋付近まで浚渫工事を水量がなければ、4月末に着手可能。六間川支川は平島地区排水路整備予算2千万円。

**田沼街道と高州和田線交差点に右折帯整備決定、予算約8千万円**  
高州地区自治会から要望のあった静鉄ストア等の生活道和田線の高州一交差点改良工事は、年内に用地買収を行い、来年には工事を完了の予定。現道8.5mを11.25mに拡張し、右折帯を新設する。ご協力頂く両側の地主様に感謝!

**瀬戸川浚渫予算3億9千万円と共に、朝比奈川樹木伐採・河道掘削に2億7千万円の予算決定!!**  
返信ハガキの岡部町村良地区住民から説明を受けた。  
朝比奈川の桂島から下流にかけて樹木と砂利の堆積で住民から不安の声が出ている。写真は村良橋付近の状況で住民の方から河川対策の要望を受けた。

**返信ハガキの横内地区の方と横内町内会長から説明を受けた。**  
朝比奈川の横内橋付近は河川がカーブしているため、川道が右岸側に流れている。護岸の連結コンクリも手前側が一部傾き状況で、少し挟られていた。昭和57年の台風で朝比奈川が決壊し、大変な被害が出た。朝比奈川沿いの住民は大雨が降ると、朝比奈川の氾濫を恐れ、川を確認している。この付近は岡部川と合流地点のため、水量も急に増大する。今回の2月補正予算では仮宿地区を中心に樹木伐採、川道改良が行われる。

**村良下橋改修(昭和31年建造)**  
村良下橋の橋脚は見かけない構造だ。沢山の橋桁があり、材木など流れてくればすぐダムになってしまう。来年度から耐震橋へと工事が始まる。

**下当間地区から上流を望む**  
葉梨川と吐呂川と両側から合流。  
昭和57年9月の台風18号による朝比奈川横内地区洪水被害  
瀬戸川及び支川各所も堤防の破壊、決壊で大被害が生じた。

2月県議会 3月8日閉会!! お陰様で副議長担当の本会議運営 6日間で議長任務、無事終了!!



昨年5月の副議長就任以来、議長を補佐し、公正公平な議会運営に私なりに誠心誠意努力してまいりました。この間、至らない点も多々あったかと存じますが、皆様から一方ならぬお力添えを頂きましたことに心から感謝申し上げます。

**「葉梨中学校」人型ロボット「pepper」がプログラミング中学校部門で金賞(1校)受賞!!**  
この事業は「pepper社会貢献プログラム」の名で平成29年4月に開始。ロボット本体に加え、教材などを3年間貸し出ししてきた。コンテストではロボットを動かすプログラムを組み、実際にロボットを動かしながら、児童・生徒がプログラムについて解説。その模様を審査した。小学校部門では「身の回りで役立つ」、中学校部門では「社会の課題を解決する」という主題を設けている。葉梨中の生徒は、新東名高速道路の藤枝パーキングエリア(PA)で中国人の客が増えていることへの対応に追われていることから、中国語を話すプログラムを作った。3日間、PAに設置して実証実験も行った。

**豊橋市教育委員会は、市立八町小学校をモデル校として4月から3年生対象に英語で算数授業を行う!!**  
同校の3年生は、算数の授業を英語で行うコースを4月から選択して受けることができる。担任教員が中心となりALT(外国語指導助手)がサポートする形で授業を進める。2020年度以降は、全学年へと広げ、国語と道徳を除く全ての授業を英語で行うコースの設置を目指す。定員は、各学年40人以内を想定。これに先立ち、新年度から学習指導要領に沿った教材の作成や授業の研究を始める。学区外からも就学できるようにする準備を進める。同校は、平成29年度から部分的にイメージ教育を導入。3~6年生の家庭科や体育などの特定の単元で行ってきた。2カ月に1回程度、教委の職員や大学教授などが授業を参観し、授業後に教員を交えて話し合い、教員の指導方法も改善を重ねてきた。

**議員提出条例「自転車の安全で適切な利用の促進」「水産振興」2件決定!!(自民改革会議提案)**  
自転車は身近で利便性の高い交通手段として定着しており、多くの県民や国内外の来訪者が、大自然を満喫しながらサイクリングを楽しんでいる。しかし、自転車の交通事故が後を絶たず、昨年は3,992件も発生。被害者は尊い命を奪われ、加害者は高額の損害賠償請求を受けることもある。交通ルールやマナーを守ることが不可欠であり、万一が事故発生した場合でも被害者に十分な補償ができるよう損害賠償保険への加入の必要性の周知を図り、自転車がサイクリングの振興、健康増進に寄与するとともに環境に優しい身近な交通手段として、安全で適正に利用され、本県が自転車の聖地となるよう条例を制定した。

12年前の2市2町合併の礎を契機に、藤枝市の将来に危機感を抱かれた多くの皆様から「藤枝市政発展のために」との要請を受け、静岡県議として県政に携わり、静岡県・志太地域、藤枝市発展に微力ながら精一杯活動してまいりました。多くの方々から数々のご指導ご支援を頂き、心から感謝申し上げます。これからも静岡県・藤枝市発展のため、皆様からのご意見やご要望にしっかり応えてまいる所存であります。ぜひ、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

**2月議会 知事報告 31年度予算案1兆2,066億円、特別会計8,285億円、企業会計837億円、2月補正予算60億5,900万円増額。**

南海トラフ地震の新たな防災対応……防災対応の方向性を示し、ガイドライン策定に着手し、来年度中に策定。地震津波対策2013……昨年度末に被害想定10万5千人から65,800人に約4割減少。目標の8割減に迅速に対応。H30の交通事故発生件数28,402件、昨年度比で1,842件減少。自転車マナーの周知、信号機や標識等整備に取組む。バーチャルメディカルレジャ運営……365人の研修生が県内の病院に従事、医師の確保と偏在の解消を図る。障害のある方の文化芸術振興……県内のオフィスや店舗で展示する仕組み構築、「まちじゅうアート」取組推進。子供医療費助成……4月から所得制限撤廃。高校生世代への助成は静岡市、浜松市とも来年度から実施。少子化対策……待機児童ゼロ早期実現に向け、保育所整備市町を支援。来年度28か所、1,205人の定員増を図る。35人学級編成……29年度から段階的に学級編成基準の下限撤廃を進めており、来年度は中学生の下限を撤廃する。県立学校の老朽化対策……40年を超える施設が4割以上ある。来年度は優先度が高い4校5棟の建替えに着手。産業人材確保・育成……多くの産業分野で人材不足が顕在化。高度産業人材の育成や女性や高齢者の活躍促進。ファーマバレープロジェクト……医療城下町推進機構の公益法人化で県出資金10億円増額、福祉介護に取組む。フーズサイエンスプロジェクト……1月上海開催の化粧品展に県内6社出展、農林水産物利用の開発に取組む。CNF 研究活発センター……CNF セルロースナノファイバーは富士工業技術支援センターを研究開発拠点化する。農林水産業強化……TPP11や、日EU・EPA等発効を契機と捉え、基盤整備・販路開拓等、攻めの農林水産業を創出。富士山静岡空港……2018年搭乗者70万3,692人と最高、旅客ターミナル増築完成で航路路線相次ぎ開設決定。働き方改革……「働きがい」「生きがい」の組織風土、時差勤務やサテライトオフィス、在宅勤務の導入に取組む。

**2月常任委員会報告**  
県防災情報システム……表示方式デジタル化、高所カメラ20箇所、映像表示・本部8面方面4面、テレビ会議導入。若者向け消費者被害防止ウェブサイト開設……トラブル事例と対処法、消費者ホットライン188、「やばい相談」。児童虐待・DVの現状……12月末の県児童虐待相談件数2,041件、児童虐待の一時的保護512件、DV相談2,405件。自殺総合対策……29年の県内自殺者588人、「若者こころのSOSサポート事業」電話相談24時間365日SNS広告。「30歳になったら静岡県」応援事業……県外在住の30歳前後の若者UIターン就職を応援し、県内企業の人材確保。地域商業の振興……リノベーション街づくりを推進する人材育成、「魅力ある個店」登録制度で地域商業の振興。スマート農業推進……リモートセンシングで分散茶園の管理作業の効率化・軽労化や新芽のAI解析で品質均一化。荒廃農地対策……担い手への集積推進。事業費200万円未満の再生作業経費助成(県1/2、市町1/2)[新規事業]鳥獣被害対策……県・衛生的な食肉処理の推進、市町:捕獲機材の購入、捕獲活動への直接支援、獣肉利活用への推進。静岡県茶業振興条例……現行の製茶指導取締条例を廃止、着味着色を規制し、生産者の経営発展など振興策推進。農業ため池防災減災対策……ため池648箇所から下流影響216箇所を耐震対策132箇所・豪雨対策175箇所改修。世界遺産「富士山」の保存管理……昨年11月に保全状況報告書提出。H30の富士山保全協力金額56,552,948円。静岡デスティネーションキャンペーン(DC)開催……本年4~6月に国内最大規模の観光企画(DC)を開催。オープニングセレモニー3月31日(日)JR静岡駅で開催。日本平夢テラス……昨年11月開館後、4か月で50万人に達した。正月は1日に1万人以上来館。臨時駐車場確保。